

銀行業界 ～今後の経営環境は不透明、着実な収益強化策が求められる～

◆市場動向 ～世界有数の事業規模、競争激化で収益力は低下傾向～

16年9月末の業界規模（前年値修正済み）：

総資産：223兆元（前年同期末比16%増）、貸出残高：110兆元（同12%増）、預金残高：153兆元（同11%増）、商業銀行の純利益（1-9月）：1.3兆元（同3%増）

中国のマネーサプライは世界最大の規模。この金融市場の中核をなす銀行の規模も世界有数だ。景気下支えに加え、15年は夏場に株価や為替が急落するなど金融市場が混乱した影響もあり、当局は金融緩和を積極的に推進。16年もこうした流れは変わらず、金融緩和策を追い風に銀行融資は概ね1割以上の伸びが続いている。もっとも、景気低迷と金利自由化による競争激化により、融資業務の収益力が一段と低下。また、不良債権も増加し、その処理も重しになった。各行は手数料ビジネスやネットバンキングの強化などに努めたものの、業界全体の増益率は15年、そして16年1-9月期も小幅にとどまった。今後も不透明な収益環境が続く可能性は高い。米中金利差が広がる中で金融緩和の継続がより難しくなるほか、企業セクターのデレバレッジ（債務縮小）も待ったなしの段階に入るためだ。企業、銀行、政府とも従来以上にバランスシートの調整を迫られるとみられ、銀行業界は“体力勝負”の段階に入ろう。

◆業界の特徴 ～経済活動の「心臓」を担う最重要セクター、政策動向が重要～

主力事業面：

銀行は経済活動の“心臓”といえる最重要セクター。メインプレイヤーは四大国有銀行。資金調達面では貯蓄率の高さから大量の預金を集めることができるほか、中小の銀行はインターバンク市場からの調達も重要に。運用面では同じ国有企業向けの貸出比率が高い。ただ、リスク管理に課題が残り、地方政府向け融資などで焦げ付きリスクも。個人向けの融資は住宅ローンが主力。銀行の利ザヤは概ね安定してきたが、金利自由化や競争激化で低下圧力に晒されている。各銀行はプライベート・バンキング、ネットバンキング業務の強化などを通じ、手数料ビジネスの拡大を目指す。その一環で「理財商品」（資産運用商品）が広く販売されてきたが、この取引の調達・運用の多くはバランスシート上に反映されず、銀行の金融仲介機能の枠外にあることから、“シャドーバンキング”と呼ばれている。

国際面：

多くの外資が進出するものの、国内市場のシェアは小さい。一方、地場系の大手銀行は有力外資を戦略投資家に招き、先進的な金融ノウハウを吸収して競争力を強化。国際業務の拡大に努めている。

政策面：

規制が厳しい業界であるだけに政策動向は重要。ここ数年で市場化が進展し、基準金利や預貸比率の規制は撤廃された。中央銀行は目安としての基準金利の上げ下げ（利上げ・利下げ）、預金準備率や自己資本比率の調整、公開市場操作、貸出ファシリティなどを通じて金融システムの安定に努めている。

◆主要企業、主な取扱銘柄 ～国有セクターによる寡占、業績の伸びは小幅に～

中国の銀行業界は国有セクターによる寡占が続く。主要17行の総資産は全体の約6割を占め、集約度も比較的高い。各行は金融緩和策を支えに15.12期、16.6期（中間）とも概ね増収増益は確保した。もっとも、金利自由化と貸出競争により、これまで安定していた預金・貸出業務の純金利マージンが低下。さらに不良債権コストが増加し、業績の伸びはわずかだった。

資産規模でみると、四大国有銀行が業界をリード。最大手は中国工商銀行（01398）。これに中国建設銀行（00939）、中国農業銀行（01288）、中国銀行（03988）が続き、中国郵政儲蓄銀行（01658）、交通銀行（03328）を加えた6行は全資産の約4割半を占める。二番手グループには株式制商業銀行が続

き、そのうち中信銀行（00998）、招商銀行（03968）、中国光大銀行（06818）の3行はそれぞれ中央政府系コングロマリットの傘下にある。地方政府系は上海の浦東発展銀行（600000）、福建の興業銀行（601166）を筆頭に、北京銀行（601169）などがある。少数だが民営資本が多数を占める大手行も存在し、中国民生銀行（01988）や平安保険（02318）傘下の平安銀行（000001）などが代表格。全国展開はこうした大手行に限られる。また、地元根をおろす地方銀行の上場が進み、重慶農村商業銀行（03618）、重慶銀行（01963）、徽商银行（03698）、浙商銀行（02016）、天津銀行（01578）、錦州銀行（00416）、盛京銀行（02066）などが香港に上場。

香港の銀行業界は自由金利を採用し、近年は人民元業務を拡大中。中でも香港ドル発行の資格を持つHSBC（00005）、中銀香港（02388）、スタンダードチャータード（02888）の3行が有名。このうち、中銀香港だけが中国銀行の傘下にある中国資本で、残りはロンドンを本拠とする外資だ。このほか、東亜銀行（00023）などの香港地場系が一定のシェアを持つ。香港系の各銀行は業績不振が目立った。

主な取扱銘柄：

コード	社名	分類	通貨	売上高 増収率	純利益 増益率	時価総額	コメント
00005	HSBC	ハンセン	米ドル	71,092 ▲4.7	13,522 ▲1.2	1,285,342	世界屈指の総合金融グループ。ロンドンに本部を置き、事業エリアは香港・中国を含む世界中に及び。設立母体である傘下の香港上海匯豐銀行有限公司は香港ドルの発券銀行であり、地場銀大手の恒生銀行（00011）を傘下に置く。英国のEU離脱決定を受け、その影響が注目される。
00023	東亜銀行	ハンセン	香港ドル	17,064 ▲6.4	5,522 ▲17.1	87,299	香港最大の地場銀行。中華圏、米国、カナダ、英国などにも拠点を設け、個人・法人向け業務、資産運用、投資銀行業務などを展開。中国事業にも積極的で、外銀としては初めて香港・本土の両方で人民元建債券を発行した実績を持つ。テンセント（00700）と提携し、ネット事業も強化。
00939	中国建設銀行	ハンセン	元	586,687 +5.5	228,145 +0.1	1,455,870	国内第2位の商業銀行。四大国有銀行の中で最初の香港上場企業となった。住宅ローンやインフラ建設向け融資などに強みを持ち、自己資本比率は競合他社を上回る。不動産市場の拡大による恩恵を受けやすい一方、住宅市況の悪化によるリスクも大きい。足元では不良債権の証券化を推進。
00998	中信銀行	H株	元	145,545 +16.6	41,158 +1.1	348,721	国有系コングロマリット「中国中信」（00267）傘下の株式制商業銀行。近年はネット金融を強化し、電子商取引トップのアリババやSNS最大手のテンセント（00700）と提携。検索最大手の百度とはネット銀行「百信銀行」を共同設立した。同分野の強化は手数料収入の拡大に貢献。
01288	中国農業銀行	H株	元	540,862 +3.2	180,582 +0.6	1,175,542	総資産などで国内3位。四大国有銀行の一角を占め、農業関連の金融事業で高い競争力を持つ。農村部での広大な拠点網が強み。一方で都市部での競争力に課題。四大銀の中では最後の香港上場となった。不良債権処理を強化するため、債務株式化の専門子会社を設立。その動向が注目される。
01398	中国工商银行	ハンセン	元	668,733 +5.3	277,131 +0.5	1,816,030	中国最大の国有商業銀行。金融機関で世界トップクラスの時価総額を誇る。国内に広大な支店網・顧客基盤を持ち、幅広く金融サービスを提供。近年は買収を通じて海外事業を強化するほか、国内では手数料ビジネスが堅調。銀行カード収入や資産運用収入の伸びが続いている。
01658	中国郵政儲蓄銀行	H株	元	190,633 +9.6	34,859 +7.0	341,949	中国の郵便貯金事業から誕生した国有系の商業銀行。リテール業務を手がけ、営業拠点数と個人顧客数は中国で最も多い。主に個人向けや中小企業への小口融資や有価証券投資を展開する。自己資本比率を強化するため、16年9月に香港に上場。16年のIPOでは世界最大級の調達額となった。
01988	中国民生銀行	H株	元	94,268 +2.3	46,111 +3.5	383,963	全国規模の商業銀行では数少ない民営企業。北京市に本店を置き、法人向け業務が主力。中小企業向け融資やマイクロローンで強みを持つ。その分、景気低迷による影響も受けやすく、不良債権の増加圧力に直面。このため資本増強の動きを加速し、資本性証券や優先株の発行を計画。
02016	浙商銀行	H株	元	25,130 +44.5	7,051 +38.4	69,145	浙江省に本拠を置く株式制商業銀行。浙江省の国有・民間を含む多くの企業が出資している。浙江省や上海市・江蘇省など華東地区を主力とし、利益の伸び率は株式制商業銀行の中でも上位に入る。所得水準が高い浙江省で強固な営業基盤を有している。
02388	中銀香港	ハンセン	香港ドル	53,597 +13.9	26,796 +9.0	303,967	香港に本拠を置く中国銀行（03988）傘下の大手商業銀行。主力子会社は中国資本唯一の香港ドル発券銀行。人民元のオフショア市場である香港で、強固な人民元ビジネスの基盤を持つ。親会社からのマレーシア事業買収が完了。香港地銀子会社の売却方針を示すなど、資産再編を進める。

コード	社名	分類	通貨	売上高 増収率	純利益 増益率	時価総額	コメント
03328	交通銀行	ハンセン	元	194,558 +6.9	66,528 +1.0	479,724	国内5位の資産規模を持つ株式制商業銀行。筆頭株主は財政部。HSBC（00005）も戦略投資家として資本参加し、提携関係にある。金融センターの上海市に本拠を置き、華東地域での競争力は高い。進行中の混合所有制改革（民間資本の導入）や海外事業の強化戦略に注目。
03968	招商銀行	H株	元	202,166 +21.5	57,696 +3.2	534,886	営業収益や手数料収入などで国内5位の商業銀行。国务院系コングロマリットの招商局集団に属している。広東省に本拠を置き、全国規模で事業展開。富裕層向けのプライベートバンキングを含む手数料ビジネスが強く、収益力は高い。今後はリテール事業をさらに強化していく計画。
03988	中国銀行	ハンセン	元	473,912 +3.9	170,845 +0.7	1,156,615	四大国有銀行の一角を占め、長年にわたり国際・外為業務で業界をリード。香港では中銀香港（02388）を通じて香港ドルを発券するほか、人民元業務を積極的に展開。金融・人民元国際化の代表的銘柄といえる。また、傘下に置く中銀航空租賃（02588）は航空機リースのアジア大手。
06818	中国光大銀行	H株	元	93,364 +18.5	29,528 +2.2	212,013	国务院系コングロマリット「中国光大集団」に属する株式制商業銀行。クレジットカードなどの手数料ビジネスや資産運用サービスに強みを持つ。親会社と共同でIT企業への投資を加速する方針。また、将来的に資産運用業のスピノフ上場の可能性もある。
000001	平安銀行	深センA株	元	96,163 +31.0	21,865 +10.4	195,743	保険を中核とする民営の金融コングロマリット大手である平安保険（02318）の傘下で、主に銀行事業を担当。広東省に本拠を置き、前身は深セン発展銀行だった。広東省を中心とする華南地方で高いシェアを持つ。フィンテックに積極的な点が特徴。
600000	浦東発展銀行	上海A株	元	146,550 +19.0	50,604 +7.6	453,724	上海市政府系の地場銀大手。浦東新区に本拠を置き、最も早く上海A株に上場を果たした銀行。通信大手の中国移動（00941）が資本参加し、提携関係にある。法人向け業務に強み。上海市政府系の国有企業改革の一環で非銀行系の上海国際信託有限公司を買収した。
600015	華夏銀行	上海A株	元	58,844 +7.2	18,883 +5.0	151,436	北京市に本拠を置く株式制商業銀行。資産規模の拡大に努めてきたが、やや高い不良債権比率が課題。首鋼集団、国家电网公司という大型国有企業の傘下にある。戦略投資家だったドイツ銀行の保有株を取得し、16年から損保最大手の中国人民財産保険（02328）が主要株主になった。
601166	興業銀行	上海A株	元	154,348 +23.6	50,207 +6.5	395,526	福建省政府系の地場銀最大手。全国規模の商業・投資銀行でもあり、信託、資産運用、リースなどを含む金融コングロマリットを形成している。ネット金融に強く、検索最大手の百度と提携。足元ではネット関連事業を再編し、新会社を設立。その動向が注目される。
601169	北京銀行	上海A株	元	44,081 +19.5	16,839 +7.8	187,955	北京市の大手銀行。地元政府に加え、オランダのINGバンクが大株主。商業銀行業務を全般的に展開し、法人向けが主力。現在は全国規模の銀行に成長している。資産の質が強みで、不良債権比率は比較的低い。京津冀地区（北京、天津、河北省）開発の関連銘柄の一つ。

※売上高・純利益はすべてブルームバーグから算出しており、当社HPの数値と異なる場合がある。すべて15年12月決算、単位は百万。

※時価総額は16年12月12日の終値に基づきブルームバーグから算出、単位は百万HKドル。換算レートは1元=1.2HKドル。

◆注目されるトピックス ～不良債権処理に耐えうる収益強化策に注目～

金融緩和策は微調整の可能性も：

中国人民銀行（中央銀行）は公開市場操作と流動性ファシリティによる金融緩和を続けてきたが、今後は微調整の可能性も。米新政権の積極財政、米国の利上げを背景に米中金利差が拡大すれば、資本流出・人民元安に繋がるリスクがあるからだ。国内要因をみても、デレバレッジを目指す構造改革と矛盾する側面も。金融政策は銀行経営や株価動向に大きな影響を与えるだけに、中央銀行の動向が注目される。

不良債権処理の負担は拡大、各行の財務健全性が試される：

景気減速とデレバレッジを背景に、銀行業界はこれまで以上に不良債権処理に追われるだろう。過去の処理では大規模な公的資金が投入されたが、今回はこれも難しい。各行は収益力・財務力を考慮しつつ、様々な手段を駆使して不良債権処理に臨むことになる。伝統的な減損処理に加え、債務株式化、証券化による売却などの動きが一段と強まろう。また債権処理には財務力の強化が不可欠。エクイティファイナンスが増えるとみられ、希薄化や株式市場での需給悪化などが警戒される。

異業種からの参入が活発化、迎え撃つ大手銀の成長戦略に注目、：

銀行改革の一環で異業種からの参入は今後も増えよう。すでに当局は10行の設立を承認。うち6行は開業しており、テンセント（00700）などが設立した深セン前海微衆銀行、アリババを中心とする浙江網商銀行は強みとするネット金融を武器に、業界の“台風目”となっている。これを迎え撃つ既存の銀行各社にとって、手数料ビジネスやフィンテックを中核とする収益強化策の遂行は待ったなしの課題だ。従来型の国有企業への融資は金利競争の激化で先行き不透明なだけに、民営・中小企業への貸出、個人向け各種ローンの構築、ネット・ダイレクトバンキングの拡充、保険・証券分野の強化などが進もう。

（中国部・畦田）

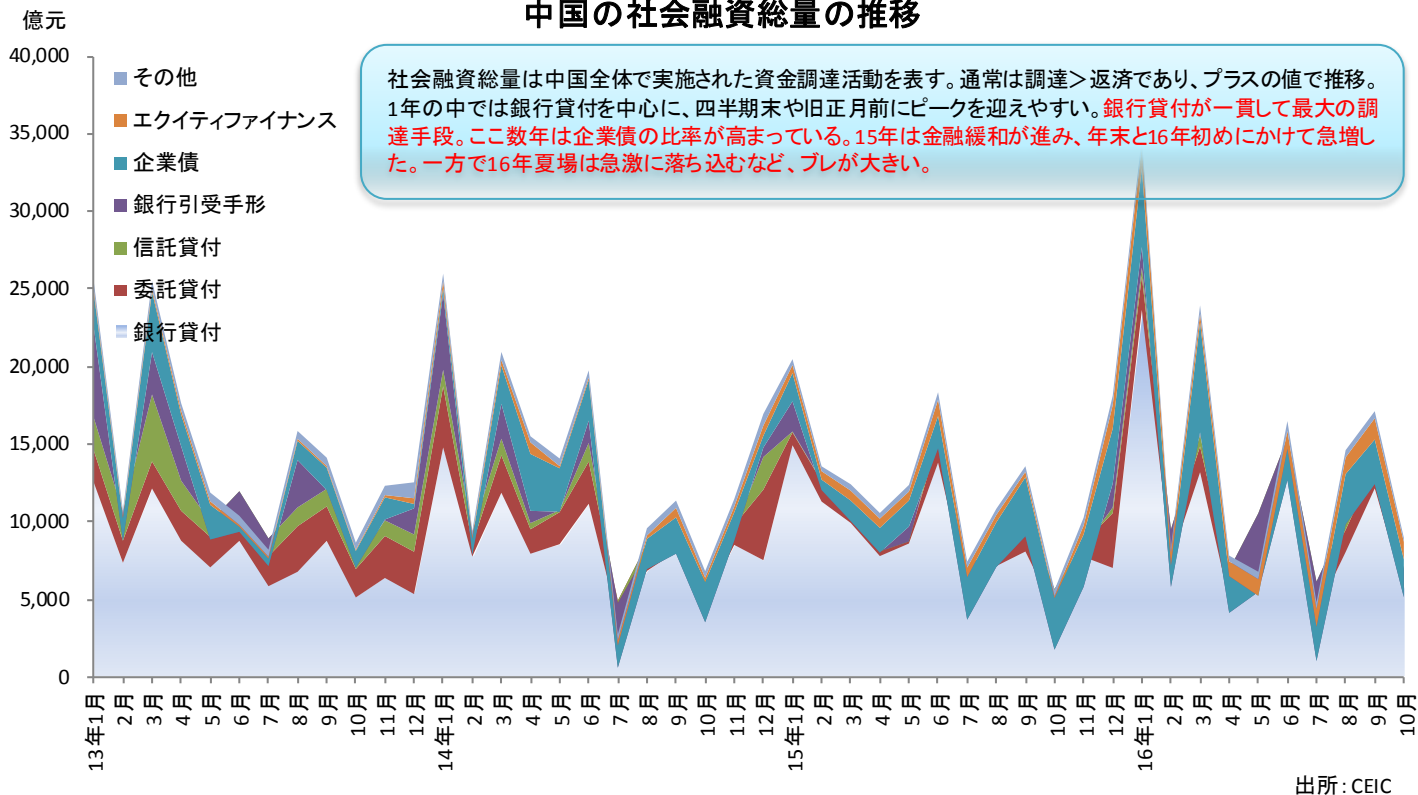
主要上場12行の経営指標一覧（16.6期（中間））

項目	中国工商銀行 (01398)	中国建設銀行 (00939)	中国農業銀行 (01288)	中国銀行 (03988)	中国郵政儲蓄銀行 (01658)	交通銀行 (03328)
分類	中央政府直轄の大型国有銀行。交通銀行、中国郵政儲蓄銀行を除く4行で四大国有銀行ともいう。					
特徴	中国最大の商業銀行。時価総額や自己資本項目などで世界有数	中国第2位の商業銀行。インフラ・不動産向け融資に強い	農業・農村向け融資に強み。13年末ではIPOでの調達額が世界最大	国際・外為業務に強みを持つ大手商業銀行	中国版“ゆうちょ銀行”、営業拠点数と個人顧客数は国内で最も多い	上海市の大型国有銀行。長江デルタ地帯で高いプレゼンスがある
総資産 (億元)	235,240	197,600	186,800	176,010	79,745	79,560
貸出残高 (億元)	126,770	111,380	93,960	97,280	27,595	39,840
預金残高 (億元)	175,690	146,760	145,250	125,250	68,961	49,180
営業収益 (億元)	3,580	3,330	2,600	2,620	933	1,030
純利息収益 率(%)	2.2	2.3	2.3	1.9	2.3	2.0
手数料収入 比率(%)	22.9	20.2	19.6	18.2	6.3	20.3
不良債権 比率(%)	1.55	1.63	2.40	1.47	0.78	1.54
自己資本 比率(%)	14.3	15.1	12.8	13.9	10.0	13.2

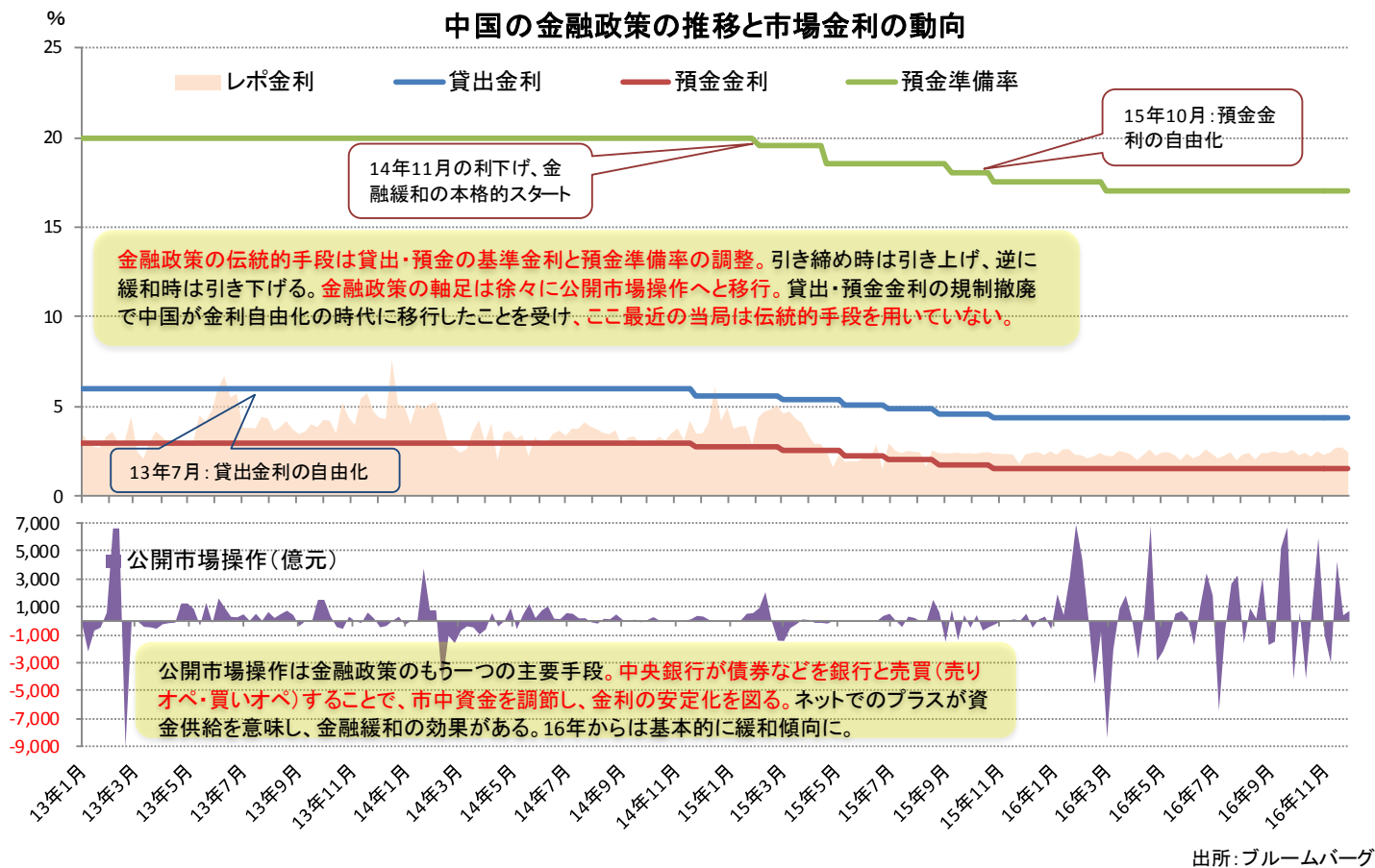
項目	中信銀行 (00998)	招商銀行 (03968)	中国民生銀行 (01988)	中国光大銀行 (06818)	興業銀行 (601166)	浦東発展銀行 (600000)
分類	全国展開する株式制商業銀行				全国展開する地銀大手	
特徴	中堅の商業銀行。コーポレートバンキングが強い	深セン市に本拠を置く商業銀行。手数料ビジネスに強み	数少ない民営銀行。新規業務の開発・展開力は定評。	クレジットカード、資産運用の業務で高い競争力。	福建省政府系の大手銀。金融多角化を進める。	上海市政府系の銀行。上海自由貿易区を本拠とする。
総資産 (億元)	56,070	55,370	52,500	37,650	57,100	53,710
貸出残高 (億元)	27,490	30,270	22,750	17,000	19,490	24,490
預金残高 (億元)	34,550	36,930	29,350	21,770	24,750	29,560
営業収益(億元)	780	1,130	780	470	810	820
純利息収益 率(%)	2.1	2.6	2.0	1.9	2.2	2.1
手数料収入 比率(%)	27.2	33.5	36.0	29.6	21.2	27.1
不良債権 比率(%)	1.40	1.83	1.67	1.50	1.63	1.65
自己資本 比率(%)	11.3	12.5	11.5	10.9	12.2	12.2

出所：KPMG、各社財務諸表等

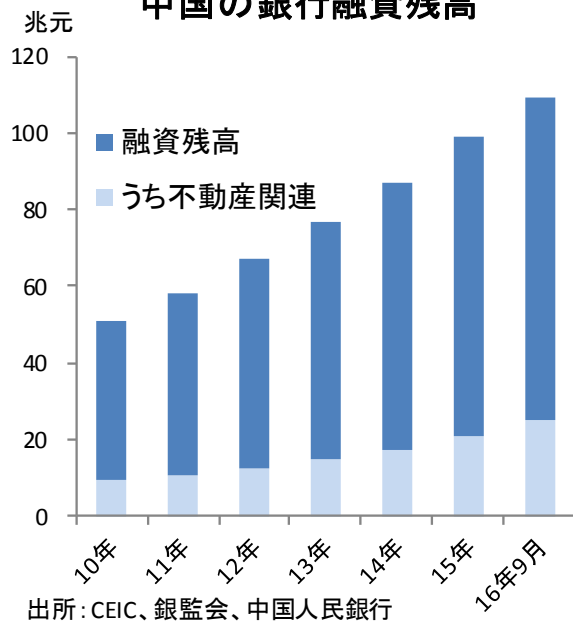
中国の社会融資総量の推移



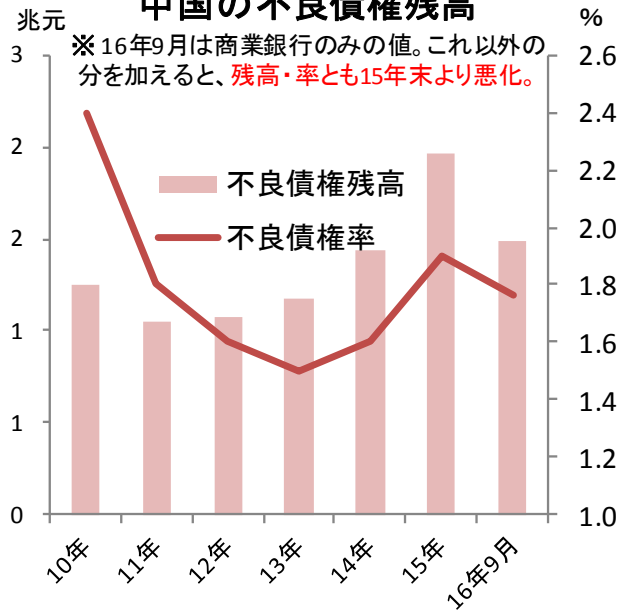
中国の金融政策の推移と市場金利の動向



中国の銀行融資残高



中国の不良債権残高



重要な注意事項

当社の概要

商号等 内藤証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第24号
本店所在地 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋1丁目5番9号 主な事業 金融商品取引業
資本金 30億248万円(平成28年3月末現在) 設立年月 昭和18年4月
加入協会 日本証券業協会
指定紛争解決機関 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター
連絡先 ご質問がございましたら、下記部支店までご連絡ください。

リスク等重要事項のご説明

リスクについて

〈株 式〉株価および為替相場(特に外国株式の場合)の変動等により損失が生じるおそれがあります。
〈債 券〉債券は市場金利の動向や発行者の信用状況等によって価格が変動するため、損失を生じるおそれがあります。さらに外国債券は為替相場の変動などにより損失が生じる場合もあります。
〈投資信託〉組み入れた株式や債券など、有価証券の価格変動および為替相場の動向(特に外国通貨建て有価証券等を投資対象としている場合)等により投資元本を割り込むおそれがあります。
〈株価指数先物・同オプション〉対象とする株価指数の動きにより損失が生じるおそれがあります。加えて、建て玉代金に比べ少額の委託証拠金での取引が可能であり、株価指数の変動によっては損失額が委託証拠金を上回る(元本超過損)おそれがあります(オプション買方場合は買付代金とコストの合計額に限定されます)。

手数料について

〈株 式〉①対面取引の場合、i)国内株式は約定代金に対して最大1.15%(税抜き以下同じ、但し最低2,500円)。ii)現地委託取引による外国株式は売買金額に対し最大0.80%(但し買付け時のみ最低500円)の国内手数料をいただきます。加えて、現地手数料として米国株式で外貨約定代金の最大0.50%、香港株式で同0.25%(最低50香港ドル)、上海・深セン株式で同0.50%必要となるほか、各証券市場によってSEC Fee、印紙税や取引所税等の費用が掛かる場合があります。また、為替に関しては内藤証券が決定したレートを用います。iii)国内店頭(相対)取引による外国株式は当社提示の取引価格の中に手数料等(諸費用を含む)をあらかじめ加味しております。また為替は上記同様、当社為替レートを用います。②コールセンター取引の場合、i)国内株式は約定代金に応じて最大31,000円(最低2,500円)。ただ、月間取引回数等による割引あり。ii)外国株式は対面取引と同様です。③インターネット取引の場合、i)国内株式は手数料プランが複数に分かれており、この欄に表示するのが難しいため、詳細は当社HP(<http://www.naito-sec.co.jp/>)にてご確認ください。ii)現地委託取引による外国株式は売買金額に対して最大0.40%(但し買付け時のみ最低500円)の国内手数料をいただきます。また現地手数料並びに為替レート等は対面取引と同様です。なお、インターネット取引は米国株式及び国内店頭取引による外国株式の取り扱いを行っていません。
〈債 券〉国内債券については売買委託手数料表をご確認ください。また、相対取引による外貨建て債券の売買に関しては当社が提示する価格の中に手数料等(諸費用を含む)をあらかじめ加味しております。円貨と外貨を交換する際には、外為市場等の動向をふまえて当社が決定した為替レートを用います。
〈投資信託〉商品により異なりますので、詳細は「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。
〈株価指数先物・同オプション〉i)株価指数先物は約定代金に対して最大0.08%。ii)株価指数オプションは約定代金の最大4.0%(但し最低2,500円)

◆本資料は、公表されたデータ等信頼できると考えられる情報に基づいて内藤証券が作成し、また記載された見解等の内容は全て作成時点のもので時間の経過とともに不正確となる場合があり、過去から将来にわたって、その正確性・完全性を保証するものではありません。内容は今後予告なく変更することがあります。◆本資料に基づいた投資によって発生する損益は全てお客様に帰属します。内藤証券は、故意または重大過失が無い限り、責任を負いません。◆本資料に提供される情報著作権等の知的財産権は、引用部分を除き、全て内藤証券に帰属します。お客様は、事前に内藤証券の同意なく、本資料の内容及び情報を複製・譲渡・修正・変更または転送等の行為をすることができません。

本社 大阪市中央区高麗橋1-5-9 06-6229-6511

東日本地区

東京第一営業部	TEL03-3666-5541	三鷹支店	TEL0422-71-1251	伊勢崎支店	TEL0270-25-3780
東京第二営業部	TEL03-3666-7137	金沢文庫支店	TEL045-780-5021	伊勢崎駅前サテライト	TEL0270-25-3780
神田支店	TEL03-6361-9191	足利支店	TEL0284-22-1234	焼津支店	TEL054-621-1311

西日本地区

本店営業部	TEL06-6229-6904	樺原支店	TEL0744-28-4711	新宮支店	TEL0735-22-8151
住道支店	TEL072-889-5236	和歌山支店	TEL073-423-6211	高松支店	TEL087-822-0105
寝屋川支店	TEL072-822-6333	有田支店	TEL0737-52-7110		
金剛支店	TEL072-365-1901	田辺支店	TEL0739-22-4678		

インターネット

succe-s@naito-sec.co.jp

コールセンター

0120-20-9680

2016/12/12 広告審査済